

東北地方 1か月予報

(7月16日から8月15日までの天候見通し)

平成17年7月15日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

東北太平洋側の北部を中心に続いている気温の低い状態は、1週目には解消する見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

太平洋高気圧に覆われ、東北地方は平年同様に晴れの日が多いですが、天気のぐずつく時期があるでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並、3～4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



低い 平年並 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 7月16日(土)～8月15日(月)

1週目 : 7月16日(土)～7月22日(金)

2週目 : 7月23日(土)～7月29日(金)

3～4週目 : 7月30日(土)～8月12日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は7月22日

3か月予報：7月25日(月) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	22.7	150.7	168.0	21.2	22.6	23.3
新庄	23.9	162.3	182.1	22.6	23.9	24.4
若松	24.8	137.4	200.1	23.7	24.9	25.3
深浦	23.0	141.9	191.9	21.7	23.0	23.5
青森	22.9	109.2	192.7	21.4	22.8	23.6
むつ	21.4	112.1	162.3	19.9	21.3	22.1
八戸	22.1	108.6	182.1	20.5	22.1	22.8
秋田	24.4	158.1	197.0	23.1	24.4	24.9
盛岡	23.2	159.0	162.8	22.0	23.4	23.7
宮古	21.8	132.0	168.8	20.2	21.7	22.5
酒田	24.8	156.8	213.9	23.5	24.9	25.3
山形	24.7	135.4	183.7	23.4	24.9	25.2
仙台	23.8	146.3	153.7	22.3	23.7	24.4
石巻	23.0	109.4	174.3	21.6	22.9	23.7
福島	25.1	133.2	159.5	23.7	25.2	25.7
白河	23.3	181.0	155.3	22.2	23.3	23.7
小名浜	23.2	110.6	187.9	22.0	23.0	23.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6~+0.7	74~117	90~112
東北日本海側	-0.6~+0.6	77~116	92~112
東北太平洋側	-0.5~+0.8	75~118	91~114

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.8~+1.0	-0.5~+1.1	-0.5~+0.9
東北日本海側	-0.7~+0.9	-0.6~+1.0	-0.7~+0.8
東北太平洋側	-0.9~+1.2	-0.5~+1.3	-0.4~+0.9

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成17年7月15日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(7月16日~8月15日):

太平洋高気圧に覆われ東北地方は平年と同様に晴れの日が多いですが、天気のぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(7月16日~7月22日):

前線や気圧の谷の影響で、曇りの日が多く、雨の降る所もあるでしょう。期間の後半は、高気圧に覆われて晴れる日もある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(7月23日~7月29日):

太平洋高気圧に覆われて、東北地方は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(7月30日~8月12日):

太平洋高気圧に覆われて、東北地方は平年と同様に晴れの日が多いですが、前線や気圧の谷の影響で一時天気がぐずつく見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

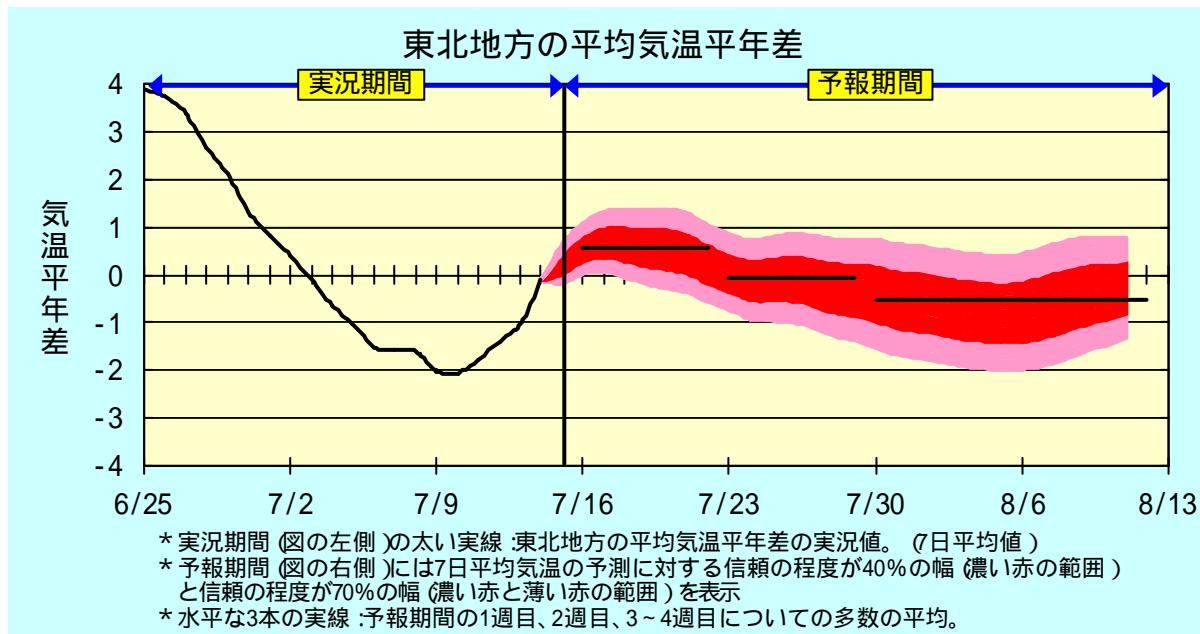
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.8日	3.3日	4.1日	8.4日
東北太平洋側	14.2日	2.7日	3.7日	7.8日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目「平年並」、2週目「平年並」、3~4週目「低い」と予測している。予報は、その他の資料から、3~4週目を「平年並」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

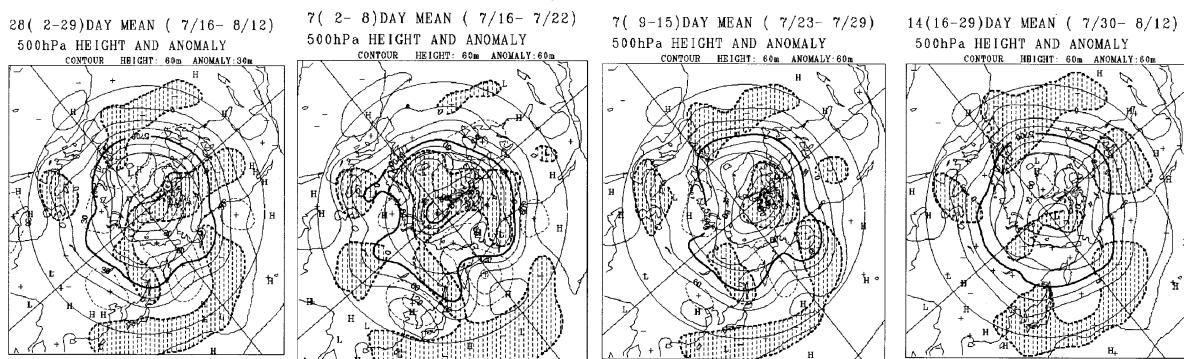


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は北日本は気圧の谷。本州以南は熱帯低気圧などの熱帯擾乱により負偏差だが不確実性が高い。

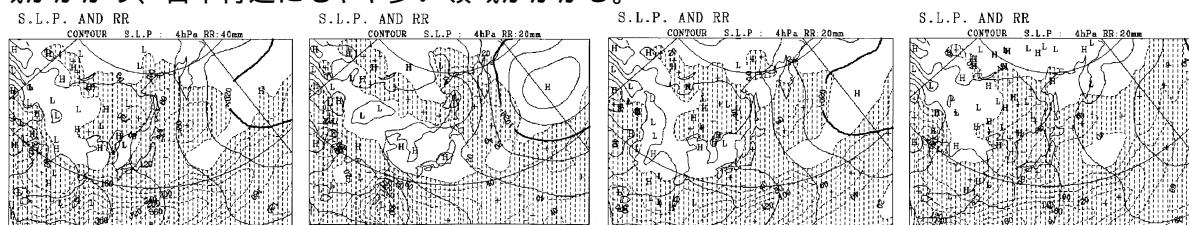
1週目は日本付近は朝鮮半島付近を中心とした正偏差に覆われる。北日本の東は気圧の谷で、東北地方も北部ほど影響を受けやすい。2週目は北海道の北と日本の南海上は負偏差だが、本州付近は正偏差。3~4週目は沿海州から朝鮮半島付近は負偏差。不確実性の高い、熱帯擾乱や太平洋高気圧の縁辺を回る縁辺流による可能性があり、負偏差の程度は割り引く。東北地方は一時前線や気圧の谷の影響で天気がぐずつく見込み。日本の東は正偏差で太平洋高気圧が北へ張り出す。



地上気圧と降水量：

月平均では、熱帯擾乱に対応する日本の南の気圧の谷が明瞭。降水量の多い領域も日本の南が明瞭で一部が本州太平洋側にかかる。

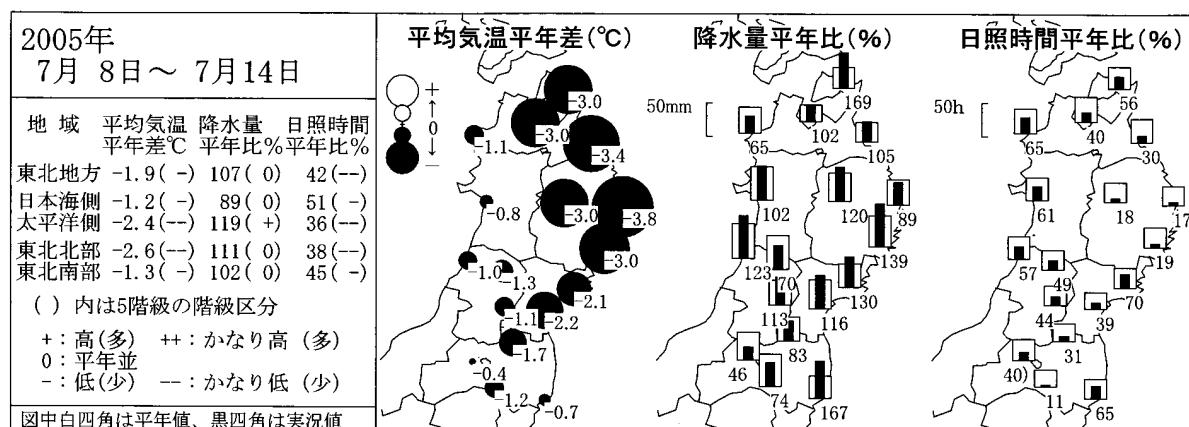
1週目は、太平洋高気圧は日本付近で強まる。日本付近には降水域がかからない。2週目は、太平洋高気圧はやや弱まり日本付近に弱い降水域がかかる。3~4週目は日本の南に降水量の多い領域がかかり、日本付近にもやや多い領域がかかる。



4. 最近1週間(7月8日~7月14日)の天候の経過

この期間、梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くた。東北太平洋側は北部を中心に冷たく湿った東風の影響を受け気温がかなり低くなかった。

平均気温は東北日本海側で低く、東北太平洋側でかなり低い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)

2005年(平成17年)梅雨入り・梅雨明け(速報)

	梅 雨 入 り			梅 雨 明 け		
地方	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
沖縄	5月 2日頃	5月 8日頃	5月 5日頃	6月 27日頃	6月 23日頃	6月 23日頃
奄美	5月 9日頃	5月10日頃	5月14日頃	6月 27日頃	6月 28日頃	6月 24日頃
九州南部	6月 11日頃	5月 29日頃	5月 29日頃	7月 15日頃	7月 13日頃	7月 11日頃
九州北部	6月 10日頃	6月 5日頃	5月 29日頃		7月 18日頃	7月 11日頃
四国	6月 11日頃	6月 4日頃	5月 29日頃		7月 17日頃	7月 13日頃
中国	6月 11日頃	6月 6日頃	5月 29日頃		7月 20日頃	7月 13日頃
近畿	6月 11日頃	6月 6日頃	6月 6日頃		7月 19日頃	7月 13日頃
東海	6月 11日頃	6月 8日頃	6月 6日頃		7月 20日頃	7月 13日頃
関東甲信	6月 10日頃	6月 8日頃	6月 6日頃		7月 20日頃	7月 13日頃
北陸	6月 27日頃	6月 10日頃	6月 6日頃		7月 22日頃	7月 22日頃
東北南部	6月 15日頃	6月 10日頃	6月 7日頃		7月 23日頃	7月 22日頃
東北北部	6月 27日頃	6月 12日頃	6月 19日頃		7月 27日頃	7月 22日頃

梅雨は季節現象であり、梅雨入りまたは明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の時期があります。
平年の時期は1971年～2000年